

電気配線による火災について

電気製品や電気配線などが原因の「電気火災」は、毎年数多く発生しており、火災の発生原因の上位となっております。その中でも、電気配線が原因となった火災が発生しましたので、今回は、「**電気配線による火災**」についてお伝えします。

火災の内容

居住者の方が**住宅用火災警報器の警報音**で目を覚まし、床から30cmほどの炎が上がっているのを発見、同居人を避難させたものの住宅一棟が全焼し、死傷者が発生したものです。

火災の原因（推定）

調査の結果、原因を、「**束ねられた配線コード**」の結束部分が許容電流を超え過負荷となり発熱、やがて「**短絡（ショート）**」を起こし出火したものと判定しました。

火災現場の写真

【火災現場のコードの様子】



【短絡（ショート）したコードの拡大図】



電気配線による火災について

電気配線による火災を防ぐために、以下のことに注意しましょう！

- ・コードが、家具などの下敷きなどにならないよう注意する！
- ・コードを、束ねたり、ねじれたままの状態で使用しない！
- ・コンセントやコードには、使用できる電気量に限界があるので、表示されている電気量を確認して使用する！
- ・コードに不具合が生じた時は、自分で修理せず、専門の業者に依頼する！

